図書館だより

平成２９年２月号
城山中央小学校

おうちの人と読みましょう

２月３日は節分，「鬼は外，福は内」と大きな声で豆まきをするお家も多いことでしょう。図書室にも鬼が出てくる本がたくさんあります。まだまだ厳しい寒さが続きますが，豆まきの後に，暖かいお部屋で鬼が出てくる楽しい本を読んで過ごしてみてはいかがでしょうか。

先生のシャッフル読み聞かせ

１月２３日（月）の朝，読書の時間にいつもと違う先生が教室に登場。読み聞かせがありました。工夫を凝らした先生のお話に，児童は思わず引き込まれ，熱心に聞き入る顔，顔，顔となりました。

＊1−1　島田先生　「とんでけとんでけわがままむし」
＊1−2　谷口先生　「みんなおやすみ」「ちいさなくれよん」
＊2−1　池田先生　「ドアをあけたら」「けいてぃー」
＊2−2　髙橋正子先生　「ダチョウのくびはなぜながい？」
＊3−1　黒川先生　「アンディとらいおん」
＊4−1　阿部先生　「りゆうがあります」
＊4−2　斎藤一晴先生　「注文の多い料理店」
＊5−1　髙橋浩史先生　「おもいのたけ」
＊5−2　髙橋博文先生　「わんぱくだんのひみつきち」
＊6−1　渡辺先生　「おとうさんのちず」

楽しかった！
また，やってほしい！という
感想がたくさん寄せられました。

冬休み家読（うちどく）カードのご紹介

＊ご家庭での心温まる読書の様子の一部をご紹介します。

「保健室の日曜日」村上 しいこ／作

いつも身近にあるものが，こんなふうに考えたり，思ったりしたらと考えると楽しく読めますね。命の大切さや生きる楽しさを学びました。（５－２　母）

「うさぎのファーンはじめてのふゆ」
ジェーン・シモンズ／作

ファーンとブラッケンのかくれんぼ，楽しそうでしたね。最後にママのうさぎといっしょに寝られてよかったね。寒い冬に家族みんなで読んでほしいと思います。
（１－２　父）

「ヘレン・ケラー」山田 せいこ／画 三浦 拓也／監修

人が幸せかどうかは，お金や障がいのあるなしではなく，その人自身がどう生きていくかで決まるのですね。自分だけでなく，みんなが幸せになることを考えられる人間になりたいですね。また，いろいろな伝記を読んでみてね。（４－１　母）

「ちからをあわせて」あいはら ひろゆき／作

どんな事でも，最後まできちんとやることは大切なことだよね。みんなと最後までやりとげることも大切なこと。いい本だね！（３－１母・妹）

「どんぐりむらのおまわりさん」なかや みわ／作

二人で交代に読んで，楽しかったです。いっちがおまわりさんになるために，いっぱい努力している姿に感動しました。（２－２　祖母）

「さがしています」アーサー・ビナード／作

戦争ほど悲惨なものはありません。二度と戦争のない世界が一日でも早く来るように祈っています。平和な日本でいられることに感謝ですね。（６－１　母）

花と緑と小鳥と本 NO. 10

＊教職員によるリレーエッセイです。

２年２組 担任
島田 久美子先生

絵本の魅力

私のクラスの本棚には，毎月新しい絵本が仲間入りします。子どもたちには何も言わず，そっと「おすすめの本コーナー」に本を忍ばせるのです。子どもたちがどんな反応をするのか，それを見るのが月に一度の私の楽しみです。子どもたちは，あっという間にたくさんの本の中から新しい本を見つけ，いつの間にか「次は僕。」「その次は私。」と予約の順番ができ，それぞれ「面白かったよ。」「読んでみて。」など本の感想を通じて仲間の輪が広がっていきます。

絵本の魅力はたくさんありますが，最大の魅力は読む人が共感し、人と人を繋げる力を持っていることだと思います。友達同士，教師と児童，親と子を繋ぐ大きな力があります。

ご家庭でもそっとお子さんの机の上にお気に入りの本を置いてみませんか。１冊の本で，すてきな会話が生まれたらいいですね。私も今月はどんな絵本を忍ばせようか，うきうきと考え中です。